

平成26年度学校評価シート

学校名：和歌山県立和歌山工業高等学校 学校長名：中前 耕一 印

目指す学校像・育てたい生徒像
○和歌山県の伝統ある工業高校として、職業教育のリーダ的役割を果たし、社会に貢献する学校。
○校訓である「質実剛健」に相応しい、健全な自主自立の精神や勤労を尊重し、国内外の産業発展に貢献できる生徒。

重点目標
(学校の課題に即し、精選した上で具体的かつ明確に記載する)
1 進路保障に向け学力の充実を図ると共に、国際人の育成を行う。
2 基本的な生活習慣の確立と、問題行動の防止に努める。
3 広報の充実と地域との連携を深め、特色ある中核校を目指す。
4 適正かつ円滑な校務運営に努め、職員の意識向上を図る。

達成度
A 十分に達成した(80%以上)
B 概ね達成した(60%以上)
C あまり十分でない(40%以上)
D 不十分である(40%未満)

学校評価の結果と改善の方策の公表の方法
年度末に発行する学校だよりに学校評価の結果を掲載するとともに、本校ホームページでも公表する予定である。

(注) 1、重点目標は3~4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2、番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3、評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。 4、年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5、学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自己評価
重点項目
平成26年度評価(平成27年3月24日現在)
表身: 1 基礎学力の不足等で第1希望の進路に進めていない生徒がいる。 2 家庭との協力関係の希薄さがあり、基本的な生活習慣の乱れが続いている生徒がいる。 3 小・中学校や企業等に、本校の特色や良さが十分伝わっていない。 4 校務等の多用化が進み、対策が必要である。

学校関係者評価
平成27年3月実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
<保護者評価、学校評議員評価>
「特色に満ちている」
「同じ科目でクラスごとに先生が違い、理解度に差が出ている」
「服装の乱れが目立つ」
「進路のことについて(就職)、他の高校より先生方は努力している」
「学校の出来事を知らせてほしい」
「学級活動の様子を教えてください」
「進学勉強を充実してほしい」
「ほか、昨年度より多くのご意見を頂戴しました。今後、一層の情報公開等、学校関係者と緊密に連携をとり、他に見られない学校運営に取り組みたいです。」
<生徒評価>
ほとんどの生徒が、この学校を卒業して自分の進路に展望が持てると思っているが、そう思うことができない生徒が増加した。クラス活動や生徒会活動を通じて、教員との意思疎通を一層図れるよう、工夫する必要がある。

評価結果表
評価 保護者(前年度) 評議員(前年度)
A 40.0%(26.9) 74.7%(61.3)
B 34.7%(42.7) 24.0%(34.7)
C 20.9%(24.0) 1.33%(4.00)
D 2.64% 0
E 1.71% 0